

どのような基準で学業成績の結果を出したか。 【創造科学系】

出席率、課題への取り組み方、提出物を総合的に見て判断しています。

4つの課題の点数と出席100点から欠席5点、遅刻2点をマイナスし合計500点を5で割って、平均点を成績としている。

毎回の授業で描く作品を5段階、課題の作品を5段階、毎授業後のミニツツペーパーに書かれた感想文を5段階、4つの観点(知識・技能に関する目標2つ／表現に関する目標／対話に関する目標)からの自己評価(各5段階)を集計し、学期末に100点満点に換算したところ、全体的に厳しすぎる結果となったので、全員に同じだけ加算してSABCの人数バランスを調整の上、成績を出した。

毎時間学生が作成するポートフォリオに対して、①論理性②独創性の2点を重視。ポートフォリオの主題が学校現場の最新の課題になっている。

大学生を対象に授業を進める経験がなく、評価基準については、どれくらいが基準になるかはっきりと持っていないのが現状です。記述の内容が、明確、丁寧であるか、学びに対して積極さを感じるかで結果を出しました。

指導した内容の理解度、到達度、実技テスト。

①授業中の発言等、②20分の展開案(デジタル教材参考)、③毎時間のミニレポートについて、発言・論述の論理構成と創造性を観点として、総合的に評価しました。

授業の出席状況、態度 30%、実習授業参加並びにレポート 10%、期末試験 60% で成績を評価した。

第1回目のオリエンテーションにて、評価項目と採点を明示し、その項目に基づいて成績の結果を提出した。

出席数と合格した曲数 75%、音楽的な表現にすぐれたもの 20%、進歩の度合い 5% で評価した。

弾く曲の難易度及び完成度 60%、合格した曲の数と出席 30%、進歩の度合い 10% で評価した。

毎回の授業の振り返りレポート、一定まとまりのテスト、討論での発言・参加状況などで成績を出しています。自分の考えをわかりやすく、かつ根拠を示して筋道立てて述べるレベルがずいぶん上がっているように思いました。

①毎授業での実技課題の達成度、②人や身体との対話力、③教材をアレンジする視点

教員として勤務する場合、あるいは音楽家として演奏活動に従事する場合、いずれも遅刻と欠席は許されないことから、「出席点」を特に重視して成績評価をつけるようにしている。さらに、「知っている／知らなかった」等の大学入学以前に身に付けた知識の多寡や「できる／できない」等の技能ではなく、授業を通じて身に付けた知識や技能の「伸びしろ」を重視して成績評価をつけるようしている。そのため、欠席ゼロで課題をクリアした学生には授業態度に問題の無い限りA評価を出すようにしている。結果として、A評価が大半を占め、受講者の割合によって評価を調整する相対評価ではなく、絶対評価で成績評価を判定することになる。実技を含む技能系教科では、相対的な評価は意味をなさないと考える。

演習の授業なので、出席が大きな点数を占めている。その他、授業態度(遅刻)、レポートを総合的に判断して成績を出している。

ポートフォリオで蓄積したレポートおよび、提出された実技とレポートのセット課題を毎授業で採点し、合計点を成績評価とした。

学習指導要領の体育科も目標に沿って、成績を出しました。

毎時間の授業態度、および発表(試験)に向けての努力と工夫。

授業内の小レポートや、中間テスト、小論文、期末の講義内容理解の確認テスト等、複数の評価対象を、総合的に点数化し、成績報告するようにしています。

どちらのクラスも、学生は真面目に取り組み、熱心な受講態度であった。実技演習が中心の授業のため試験は行わなかった。従って授業の欠席数、授業態度は勿論、制作した作品の出来、提出したレポートなどを総合的に評価した。定期的に提出させた「図画工作科ファイル」のまとめ方も評価に加味した。長期欠席者1名を除くと、両クラスとも、S~Bの成績分布となった。

授業で制作した水彩画や木版画、ペーパークラフトなどの作品の得点の平均点(100点満点)に授業後の感想を加味して評価をした。

- ・問題・課題への探究姿勢…30%
- ・実技制作への参加・発表…40%
- ・筆記課題の結果…30%

出席及び受講態度(60%)、課題レポート(40%)により総合的に評価する。

出席、いくつかの課題の提出状況、グループ活動での活動内容とグループ発表、途中で行う確認のテストなどの結果を総合的に判断して評価を行っています。

出席及び学習意欲、授業後のレポートで総合的に評価した

毎回、授業で理解した内容や気づきをまとめたものを提出してもらい、その提出物に対する評価、グループ発表に対する評価、試験に対する評価、授業への参加態度(出欠や遅刻、早退などを含む)などを総合評価して成績とした

提出物、毎時間のふり返り、テストの評価基準を設定し、点数を合計し、評価を出しています。

毎回の授業への参加意欲。課題の提出とその評価。作品の提出とその評価。ペーパーテスト。以上をまとめて評価を出している。

出席、授業内のパフォーマンス、レポート